

第12回 令和5年度
公益社団法人福島県診療放射線技師会
定時総会議案書
(書面表決)



新型コロナウイルス感染拡大による集会等の自粛要請を考慮し、残念ではありますが定款第20条に基づき書面での定時総会の開催とします。この総会議案書をお読みになりご確認ください。

また、書面表決書を同封致しますので署名・押印と、議案毎に「賛成・修正・否決」の該当する項目に○を記載する事を必ずお願いいたします。

定時総会へのご意見等がありましたら、各地区協議会や理事までお知らせください。直接、福島県診療放射線技師会 HP へメールしていただいても構いません。なお、一般公開講演や各表彰伝達も中止といたします。結果については、各理事、福島県診療放射線技師会 HP や福島放技ニュースにてお知らせいたします。会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

議事

令和4年度事業報告	5
定款に基づく事業	6
(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業	6
1) 講演会・講習会等	6
2) 分科会・部会活動	7
3) 各地区協議会研究会等	9
(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業	12
1) 一般公開講演会（主催）	12
2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 福島に広告掲載	12
3) 健康フェスタ 2022（福島市）	12
4) ファミリーフェスタ郡山 2022	12
5) 第36回会津若松市健康まつり	12
6) 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山 2022」	12
7) メディカルクルエーションふくしま 2022（共催）	12
(3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業	12
1) フレッシュアーズセミナーの開催（日放技からの業務委託）	12
2) 第12回東北放射線医療技術学術大会（共催）	12
3) 令和4年度福島県放射線技師学術大会の開催（主催）	12
(4) 診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業	13
1) X線アナライザー「ピラニア」とサーベイメーターの貸し出しと精度管理	13
2) 令和元年度福島県原子力防災住民避難訓練の会議等	13
3) 原子力安全協会 避難解除地域帰還者 WBC 想定結果説明要員の派遣	13
(5) その他の目的を達成するために必要な事業	13
1) 第11回（2022年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会	13
2) 理事会の開催	13
3) 各地区協議会全体会の開催	13
4) その他	14
5) 委員会の活動	14
6) 部会報告	15
7) ニュース・会報の発行	16
8) 会員に対する表彰（敬称略）	16
庶務報告	17
第1号議案 令和4年度決算報告	18
第2号議案 令和5年度事業計画（案）	28
定款に基づく事業	29
(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業	29
(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業	29
(3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事	29

（４）診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業.....	29
（５）その他目的を達成するために必要な事業	30
令和５年度 年間行事予定表 （案）	31
第３号議案 令和５年度予算（案）.....	33
第４号議案 定款及び規程改正	37
第５号議案 令和５－６年度理事・監事の選任について.....	38
第６号議案 会長・副会長の選出について.....	38

書面表決書 締め切り期日 令和５年５月２５日（木） 必着

議 事

令和4年度事業報告

総括

令和元年末より新型コロナウイルスが猛威を振るい、令和4年度も人の集まりや外出が制限され、研究会や学会はWeb開催が主流となった。令和4年の定時総会も異例ではあるが役員改選も含めて紙面上承認とした。令和4年度は役員継続のため事業計画に基づき各委員会、各種研究会が主な活動を行っている。

当会としては、日本放射線技術学会の新型コロナウイルス感染防止に関する基本方針に則って活動する事にした。技師会活動も理事会の電磁的承認と補助的にWeb会議を行った。時間的拘束に対する対価について県定時総会でも質問があり、理事会として検討したが支払いは見送った。

第4回理事会で非常勤事務員の雇用を検討し採決された。某銀行OB会を通じて事務員募集を行い、事務局長と会長が個々に面接を行い採用に至った。事務局の極端な負担の軽減や会員サービス向上を目指す。週2回（火・金）の10時から16時（12-13時は休憩時間）の時間帯で事務所に勤務する。

日本診療放射線技師会（日放技）は上田会長が再選され、また新里が地域理事として参加する事になった。今後は県会長と日放技の地域理事として東北との橋渡しを行う。

理事会は理事が参加しやすい17時からWeb開催とし、その前に執行委員会を事務所で開催するシステムにした。会長・副会長・監事・事務局長・会計が直接顔を合わせて有意義な話し合いになっている。

今年度は、緊急連絡体制の訓練や避難してきた住民やバスのスクリーニング訓練を規模縮小で行った。訓練には念願の県技師会の名前入りビブスを着て参加した。放射線管理士部会には、県からの依頼で福島県原子力防災基礎研修の講師についても引き受けていただいた。今後も被ばく低減施設の推進や医療被ばく管理等についても啓発をお願いする。

今年度も、各地区の健康まつりやピンクリボン活動等は、COVID-19の影響で中止が相次いだ。

福島県診療放射線技師学術大会は、福島県立医大保健科学部の1階多目的ホールを使用してハイブリッド開催を行った。一般公開講演は、同大学の早乙女康作准教授に「ラジェションハウスを私が創りたかったワケ ～誕生から映画化までのキセキ～」を講演、ランチョンセミナーでは、奥州市総合水沢病院の高橋伸光氏が「骨折診断のためのCT撮影のコツ・勘・説」を講演しました。一般演題、論文賞受賞講演、技師会企画シンポジウム「COVID-19感染症における院内対応について」を行った。

第12回東北放射線医療技術学術大会（TCRT2022）は、放射線技術学会との共催で令和4年11月19-20日に新潟県で開催された。演題数も開催県を省けば、東北でトップの数であった。

福島県立医科大学に診療放射線技師養成を含む新学部が令和3年4月に開校し、県技師会とその後とも友好な関係を築いている。告示研修の会場にも使わせてもらい、多くのご協力を得る事が出来て感謝している。令和3年度に実施できなかった告示研修については、6月に県北、7月に浜通り2回・会津、11月に県南2回を開催した。また令和5年1月には県北で2回を開催して計8回を開催した。令和3年度に2回、令和4年度は4回が目標だったので合計で達成できた。堀江生涯教育担当、池田理事、久保先生、田代先生、各ファシリテーターの方々のご尽力、色々のご苦勞をかけた事に対して感謝申し上げます。

事務所の整備については、事務員の業務のためPC複合機等を購入した。

令和4年度も会員及び助会員のご支援やご協力で、本会の事業を進める事ができた。これからも公益社団法人としての使命の遂行に務めて行くので、変わらないご支援をお願いする。

定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

1) 講演会・講習会等

①第35回福島県臨床画像研究会（共催）

開催日：令和4年7月2日（土）

開催場所：ZOOMによるオンライン開催

参加者：名（内会員：名）

「上肢の画像診断－撮影のコツ、診断のポイント－」

東北大学病院 放射線診断科 常陸 真 助教

②第13回福島救急撮影カンファレンス（FEIC）

開催日：令和5年2月25日（土）

開催場所：Web開催

参加者：269名

「冬に起こりやすい外傷」

情報提供「医療機器メーカーの救急への取り組み」

キヤノンメディカルシステムズ(株) 佐藤 靖朋 氏

救急実践塾①「救急における大腿骨骨折について」

竹田綜合病院 石川 奏 先生

「スキー外傷でドクターカーを要請した症例」

猪苗代消防署 磐梯出張所 副所長 渡部 睦由 氏

「スキー外傷でドクターカーが出動した症例」

会津中央病院 大島 花月先生

救急実践塾②「救急撮影技師と認定試験について」

竹田綜合病院 栗田 準一郎

特別講演「会津の救急医療」

会津中央病院救命救急センター 山村 英治 先生

③Fukushima ANgio Technology seminAr 8th FANTA

開催日：令和4年10月15日（土）

開催場所：福島市杉妻会館（ハイブリッド開催）

参加者：150名（Web105名、会場45名）

Educational session

「外傷 I V R の適応を得る」 星総合病院 井戸沼俊英

「バイタルを観る」 栢記念病院 渡邊理香

「I V R を繋ぐ C T」 太田西ノ内病院 宮田健吏

「I V R を読む」 太田西ノ内病院 深谷理人

「外科的止血の術を聴く」 会津中央病院 齋藤 司

Practical session

「技師の世界へ羽ばたけ」 福島県立医科大学 田代雅実

「二次救急で求める」 南東北総合病院 三瓶 孝

「三次救急に生きる」 いわき市医療センター 石川智大

「認定技師の壁」 太田西ノ内病院 大原亮平

「血管撮影インターベンション専門技師への道」 大原綜合病院 末永稔明

Special Lecture

「外傷 I V R ～10 年の軌跡～」

太田西ノ内病院 救命救急センター 救急治療部部長 石田時也 先生

2) 分科会・部会活動

①CT 分科会

福島県 CT テクニカルセミナー

開 催 日：令和 4 年 6 月 10 日

開催場所：ZOOM Webinar： Web 開催

内容

情報提供「情報提供サイト『ラジサポ「F」』のご紹介」

富士製薬(株)

シンポジウム「県内の C T における手術支援の現状」

頭頸部領域

総合南東北病院 佐原 圭治

胸部領域

太田西ノ内病院 遠藤 裕貴

大腸領域

会津医療センター 小澤 航也

特別講演「手術支援に必要な C T 造影技術 -原理と応用-」

さいたま赤十字病院 寺澤 和晶先生

②MRI 分科会

第 21 回 MRI 技術研究会

開 催 日：令和 4 年 6 月 4 日

開催場所：ZOOM Webinar： Web 開催

内容

1. 情報提供

1-1 MRI 用インジェクタ「MRXperion」について

バイエル(株) 松本 司 氏

2. シンポジウム ～腹部・骨盤領域での困った！7 への対応～

2-1 EOB

総合南東北病院 齋藤 嘉希

2-2 MRCP

星総合病院 阿部 祐也

2-3 前立腺

公立藤田病院 鈴木 圭一

2-4 女性骨盤

竹田綜合病院 二瓶 秀明

2-5 総合討論

3. 特別講演 「プロ MRI ドライバーを目指して」

国家公務員共済組合連合会 虎ノ門病院 福澤 圭 氏

③画像技術分科会

福島県デジタル画像研究会

COVID-19 による影響で開催中止

福島県画像技術研究会

開 催 日：令和 5 年 1 月 20 日

開催場所：Web 開催

内容 テーマ「小児領域」

情報提供「造影剤お役立ちサイト『Contrast College』の紹介」 GE ヘルスケアファーマ(株)

シンポジウム「一般撮影・透視検査の現状について」 太田西ノ内病院 有賀晃平

「CT 検査での現状について」 福島県立医科大学附属病院 菊田葉生

「MRI 検査の現状について」 竹田総合病院 小林 瞳

特別講演「放射線技師に期待すること：依頼医のニーズを正しく捉え小児に最適化された撮像を行う」 千葉大学医学部附属病院 放射線科 羽柴 淳 先生

④乳腺画像分科会

第 21 回福島県乳腺画像研究会

開催日：令和 4 年 9 月 3 日

開催場所：Web 開催

内容 製品紹介「受診者の負荷軽減と最新の画像処理について」 富士フイルムメディカル(株)
研究会「あなたの困った！どうしていますか？」～ポジショニング教育から応用まで～

新人技師	：常磐病院	大嶋 雪希
中堅技師（検診）	：かしま病院	樋口 このみ
中堅技師（精検）	：福島県立医大附属病院	宮岡 友美
ベテラン技師	：渡辺病院	布川 真理子

⑤放射線治療分科会

第 46 回福島県放射線治療技術研究会

開催日：令和 5 年 3 月 11 日

開催場所：ZOOM による Web 開催

内容

特別講演 1『CT シミュレーター SIEMENS ユーザーのホンネ

～DirectDensity,DualEnergyCT.iMRI～』

愛知医科大学病院 仲村和彦 先生

特別講演 2『看護の視点での放射線治療』

昭和大学病院 守屋 靖代 先生

会員話題提供 1	1.福島県立医科大学附属病院	宮岡 裕一
	2.会津中央病院	櫻井 卓人
	3.福島県立医科大学附属病院	佐藤 謙吾
	4.福島労災病院	佐々木 亮浩
	5.太田西ノ内病院	林 伸也
	6.白河厚生総合病院	吉田 龍太
	7.福島県立医科大学附属病院	伊藤 彩乃
	8.南東北がん陽子線治療センター	佐藤 啓樹
会員話題提供 2	1.北福島医療センター	星野 勝
	2.福島県立医科大学附属病院	星 佑樹
	3.会津中央病院	五十嵐 康裕
	4.南東北がん陽子線治療センター	島田 星良
	5.太田西ノ内病院	庭山 洋

⑥福島県放射線管理士部会

放射線機器管理地域研修会 日本放射線機器管理士部会との共催

開催日：令和5年2月11日

開催場所：郡山商工会議所6階

参加者：23名

- 内容 1.医療機器管理における法令と更新の手続き 純真学園大学 中村 泰彦 先生
2.X線撮影装置における機器管理と実践 九州大学病院 加藤 豊幸 先生
3.CT装置における機器管理と実践 北里大学北里研究所病院 小林 孝幸 先生
4.造影剤自動注入装置における機器管理と実践
東京北区医療センター 菊地 克彦 先生
5.核医学装置における機器管理と実践 神戸総合医療専門学校 田中 悟 先生
6.総合討論

⑦消化器撮影分科会

福島県生活習慣病検診等従事者講習会（胃がん検診）

開催日：令和5年1月21日

開催場所：Web開催

- 内容 特別講演 「胃癌の病理アップデート『読み切れない胃がん』の病理」
JR北海道厚生連札幌厚生病院 市原 真 先生
症例検討

3) 各地区協議会研究会等

①第36回いわき地区画像研究会

開催日：令和5年3月2日

開催場所：Web開催

「心臓CTの撮影のポイント」

社会医療法人財団石心会 川崎病院

放射線科 石田 和史

参加者：103名（いわき地区参加者：28名）

②県南地区協議会サマーセミナー

開催日：令和4年7月30日

開催場所：Web開催

参加者43名（会員：37名、非会員：6名）

1. メーカー話題提供

ITEM2022 報告～Photon Counting CT～

シーメンス(株)CT事業部 鈴木 和明 氏

Philips Brandnew Technologies Blue Seal Magnet

フィリップス(株)MRモダリティセールススペシャリスト

岡田 拓也 氏

2. 令和4年度診療報酬改定と獲得へ向けた取り組み

当院における ReportChecker240 を用いた画像診断書の確認

星総合病院 黒岩堂瑞穂

3. 放射線治療技術の過去・現在・未来

公立大学法人 福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線科学科加藤貴弘教授

③令和4年度浜通り地区協議会 夏季研修会 学術大会

開催日：令和4年8月27日

開催場所：Web開催

・CT装置メーカーセッション 最新のCT装置の動向

キャノンメディカルシステムズ株式会社

株式会社フィリップス・ジャパン

・学術発表

当院におけるX線撮影補助者の防護眼鏡による水晶体被ばく低減効果の検討

いわき市医療センター

斉藤 舞香

Tin フィルターを用いた低線量CTの検討

養生会 かしま病院

皆川 凌

デンタルCT撮影時における防護眼鏡を用いた水晶体被ばく線量低減の比較と評価

渡辺病院

齋藤 浩樹

末梢動脈血管内治療の施設内患者被ばく管理基準の策定

いわき市医療センター

佐藤 悠二

当院の小児頭部CTにおける被ばく線量の現状

南相馬市立総合病院

木幡 拓海

3DCTによる画像支援症例

公益財団法人ときわ会常磐病院 中川西 真吾

・特別講演

CTの逐次近似画像再構成と頭部CTへの応用について

福島県立医科大学放射線医学講座 関野啓史 先生

事前登録者数：57名 参加者数：57名 参加実績確認数：44名

④県北地区協議会夏季勉強会

開催日：令和4年9月3日

開催場所：Web開催

参加者：37名（会員33名、賛助会3名）

CT装置の現状 ～なかなか聞けない？エントリーモデルのはなし Part2&最新トピックス～

株式会社フィリップス・ジャパン プレシジョンダイアグノシス事業部

山口 優輝 氏

GEヘルスケアジャパン株式会社 CT部

中埜 泰暢 氏

ZIO活用テクニックと最新情報

アミン株式会社 仙台営業所 林 真平 氏

⑤県北地区協議会冬季勉強会

開催日：令和5年2月4日

開催場所：Web 開催

内容 演題 1 「動態撮影について ～新技術の紹介と臨床応用への期待～」

コニカミノルタ株式会社

塩原 惇也 氏

演題 2 「MR 装置の現状 ～エントリーモデルについて～」

キヤノンメディカルシステムズ(株) 東北支社営業推進部

甘利 裕 氏

富士フイルムヘルスケア株式会社 画像診断営業部

京谷 勉輔 氏

⑥県南地区新年勉強会

開催日：令和 5 年 1 月 28 日

開催場所：Web 開催

参加者：24 名（会員 22 名、非会員 2 名、）

内容 1.メーカー話題提供「クラウド型線量管理システム MINCADI でできること」

(株)A-Line 代表取締役 北中 康友氏

2.各施設における線量管理状況報告

都路診療所 菅野 修一

坪井病院 菅家 和也

白河厚生総合病院 石森 光一

3.特別講演「医療法改正に伴う医療放射線安全管理について（行政機関から）」

宮城県保健福祉部 技術主幹 小野寺 保 氏

4.意見交換

⑦第 105 回会津画像研究会

開催日：令和 4 年 8 月 25 日

開催場所：Web 開催

参加者：26 名（内会員 24 名）

内容 演題 1. 新人技師向けフレッシュセミナー 一般撮影：上肢撮影

竹田綜合病院 栗田 準一郎

演題 2. 坂下厚生総合病院 新病院紹介

坂下厚生総合病院 風間 顕成

⑧第 106 回会津画像研究会

開催日：令和 4 年 12 月 22 日

開催場所：Web 開催

参加者：31 名（内会員 26 名）

内容 演題 1. 外科用 C アーム COREVISION 3D を導入して

竹田綜合病院 佐藤 貴文

演題 2. 当院の O-arm 術中イメージングシステムにおける使用経験

会津医療センター 泉田 健介

⑨第 107 回会津画像研究会

開催日：令和 4 年 3 月 15 日

開催場所：Web 開催

参加者：42 名（内会員 33 名）

内容～テーマ 心電図を知り、心臓 CT に生かす～

- | | | |
|-----------------------------------|--------------|-------|
| 演題 1. 「サ・イ・ナ・ス」 | 福島県立医科大学附属病院 | 角田 和也 |
| 演題 2. 「心臓 CT の基礎」 | 会津中央病院 | 齋藤 浩行 |
| 演題 3. 「当院における冠動脈 CT の心電同期撮影法について」 | 竹田総合病院 | 真壁 晴香 |

(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

1) 一般公開講演会 (主催)

① 定時総会時の一般公開講演

なし

② 学術大会の一般公開講演

福島医大保健科学部 五月女廉作准教授による

「ラジエーションハウスを私が創りたかったワケ ～誕生から映画化までのキセキ～」

2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 福島に広告掲載

後援支援

3) 健康フェスタ 2022 (福島市)

COVID19 の影響で開催中止

4) ファミリーフェスタ郡山 2022

COVID19 の影響で開催中止

5) 第 36 回会津若松市健康まつり

COVID19 の影響で開催中止

6) 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山 2022」

開催日 令和 4 年 10 月 2 日 開催場所 星総合病院 オンライン視聴

7) メディカルクルエーションふくしま 2022 (共催)

開催日 令和 4 年 10 月 27 日 開催場所 ビックパレットふくしま

(3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業

1) フレッシュアップセミナーの開催 (日放技からの業務委託)

開催日 令和 4 年 9 月 25 日 開催場所 ZOOM

参加者 7 名

内容 新人診療放射線技師を対象にして、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナー及び、診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の講習を行った。

2) 第 12 回東北放射線医療技術学術大会 (共催)

開催日 令和 4 年 11 月 19-20 日 開催場所 新潟県朱鷺メッセと Web 開催

テーマ 「Self Innovation」 ～今そしてここからのあゆみ～

3) 令和 4 年度福島県放射線技師学術大会の開催 (主催)

開催日 令和 4 年 10 月 30 日 開催場所 YouTube オンデマンド形式

内容 一般公開講演

「ラジエーションハウスを私が創りたかったワケ ～誕生から映画化までのキセキ～」

福島医大保健科学部 五月女 康作 准教授

ランチョンセミナー 「骨折診断のための CT 撮影のコツ・勘・説」

奥州市総合水沢病院 高橋 伸光 氏
論文受賞講演 「リジェネラティブな胸部造影 CT」 大原総合病院 村松 駿
「患者に負担をかけずに診断能を向上させる技術 ～心臓核医学における生理的集積の抑制～」
白河厚生総合病院 小室 敦司
技師会企画「COVID-19 感染症における院内対応について」

福島医大保健科学部 田代 雅美 助教
いわき市医療センター 今泉 虹輝
太田西ノ内病院 孔 秀和

(4) 診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業

- 1) X線アナライザー「ピラニア」とサーベイメーターの貸し出しと精度管理
事業内容 各地区ローテーションに加え随時貸し出し
- 2) 令和元年度福島県原子力防災住民避難訓練の会議等
①令和3年度危機管理対策連絡会及びみちのく ALERT 第1回調整会議
COVID-19 による影響で参加中止
- 3) 原子力安全協会 避難解除地域帰還者 WBC 想定結果説明要員の派遣

(5) その他の目的を達成するために必要な事業

- 1) 第11回(2022年度)公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会
開催日 令和4年5月28日(土)
開催場所 竹田総合病院
内容 会員総数655名中、有効票503票(表決権行使者433名、委任状提出者70名)で開催され、提案された議案は全て原案通り可決された。

2) 理事会の開催

令和4年6月17日	令和4年度第1回理事会	(電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)
令和4年9月9日	令和4年度第2回理事会	(電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)
令和4年12月2日	令和4年度第3回理事会	(電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)
令和5年2月17日	令和4年度第4回理事会	(電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)

3) 各地区協議会全体会の開催

令和4年4月21日 浜通り地区(いわき市医療センター・書面決済)
会員数172名中、委任状145名

令和4年4月22日 県北地区(福島県立医科大学附属病院・書面決済)
会員数190名、委任状161名

令和4年4月26日 会津地区(書面表決)
総会員数97名、表決権行使者61名、委任状提出21名で有効票数82名

令和3年5月19日 県南地区(総合南東北病院・書面表決)
総会員数199名、参加者5名、委任状168名で有効票173名

②地区協議会委員会

- 令和4年4月21日 第1回浜通り地区協議会委員会 (web開催)
令和4年6月9日 第2回浜通り地区協議会委員会 (web開催)
令和3年6月23日 第1回県南地区協議会委員会
(南東北陽子線センター会議室及びWeb開催)
令和4年6月27日 第1回会津地区協議会委員会 (竹田総合病院合及びWeb開催)
令和4年9月15日 第3回浜通り地区協議会委員会 (web開催)
令和4年9月27日 第2回会津地区協議会委員会 (竹田総合病院合及びWeb開催)
令和4年11月10日 第1回県北地区協議会委員
(福島県立医科大学附属病院及びWeb開催)
令和4年11月14日 第2回県南地区協議会委員会
(南東北がん陽子線治療センター及びWeb開催)
令和5年3月2日 第2回県北地区協議会委員 (福島県立医科大学附属病院及びWeb開催)
令和5年3月7日 第4回浜通り地区協議会委員会 (web開催)

令和5年3月7日 第3回会津地区協議会委員会 (竹田総合病院合及びWeb開催)
令和5年3月27日 第3回県南地区協議会委員会
(南東北がん陽子線治療センター及びWeb開催)

4) その他

①県原子力防災通信訓練

- 第1回通信訓練 開催日 令和4年6月22日
第2回通信訓練 開催日 令和4年12月26日
第3回通信訓練 開催日 令和5年1月31日

5) 委員会の活動

①総務企画委員会

電磁的な委員会開催 令和4年年度事業計画案・予算案の審議等

- 第1回執行委員会 開催日：令和4年6月17日 開催場所：県技師会事務所
第2回執行委員会 開催日：令和4年9月17日 開催場所：県技師会事務所
第3回執行委員会 開催日：令和4年12月2日 開催場所：県技師会事務所
第4回執行委員会 開催日：令和5年2月17日 開催場所：県技師会事務所

②表彰委員会

日本診療放射線技師会 永年勤続（50年）表彰者推薦の審査

令和4年度（公社）日本診療放射線技師会 永年勤続（30年）表彰者推薦の審査

令和4年度（公社）福島県診療放射線技師会 永年勤続（20年）表彰の審議・決定
（公社）福島県診療放射線技師会功労表彰者の決定

叙勲候補者の推薦審査

③学術委員会

令和4年度福島県放射線技師学術大会の開催・企画・運営

TCRT2022 への協力

令和3年度学術委員会

日時 令和3年6月28日 開催 開催場所 Web

日時 令和4年1月28日 開催 開催場所 事務所兼研修センター

④ネットワーク委員会

福島県診療放射線技師会ホームページの更新作業（各研究会案内・求人依頼等）

各委員会及び各地区協議会メーリングリストの運営管理

メールマガジンの発行

各委員会・各地区協議会の共有ファイルシステムの構築

令和3年ネットワーク委員会

日時：令和3年7月15日 開催 開催場所：Web

⑤精度管理委員会

Piranha の2台体制での貸し出し開始（4月1日～）

Piranha Puremium ②Piranha657

地区ローテーションと貸し出し期間及び2機種の性能の違いをHPに掲載

その他の測定器（電離箱、GM、シンチレーションサーベイメーターの貸し出し）

⑥編集広報委員会

会報の発行 第59号

福放技ニュースの発行 188-193号

10周年記念誌の作成継続

⑦生涯教育委員会

フレッシュャーズセミナーの開催

告示研修会の開催

県内各研究会での参加者チェックと日放技への申請等

⑧災害対策委員会

福島県原子力防災訓練等に係る関係機関会議出席

原子力災害関連の各種研修会への会員派遣

⑨財務委員会

内部監査や中間の監査、期末会計監査等

⑩調査委員会

調査内容の検討

県学術大会での調査報告で発表出来ず県技師会ホームページに掲載

6) 部会報告

放射線管理士部会

避難指示解除地域の線量把握事業への協力

放射線利用に関する啓発活動

福島県原子力災害対策協議会への出席

令和4年度放射線機器管理地域研修会の手伝い 開催中止・来年度の開催を検討

7) ニュース・会報の発行

①令和2年度 福島県診療放射線技師会ニュース発行

188号 令和4年 5月27日発行 巻頭言 鈴木副会長
189号 令和4年 7月29日発行 巻頭言 阿部副会長
190号 令和4年 9月30日発行 巻頭言 佐藤副会長
191号 令和4年 11月25日発行 巻頭言 新里会長
192号 令和5年 1月27日発行 巻頭言 鈴木副会長
193号 令和5年 3月17日発行 巻頭言 阿部副会長

②会報発行

令和5年3月31日 第59号

8) 会員に対する表彰 (敬称略)

①(公社)福島県診療放射線技師会 永年勤続(20年)表彰

県北地区 海藤 佳奈子(須川診療所)
齊藤 裕子(福島県労働保健センター)
佐藤 千春(北福島医療センター)
那須川 純(福島県労働保健センター)
山品 博子(福島県立医科大学保健科学部)

県南地区 大越 裕志(総合南東北病院)
山内 美子(塙厚生病院)

会津地区 なし

浜通り地区 なし

②(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(30年)表彰

県北地区 石田 篤史(福島県保健衛生協会)
外山 慎(福島県保健衛生協会)

県南地区 なし

会津地区 なし

浜通り地区 菅原 正志(福島労災病院)
柴田 盛也(こうじま慈愛病院)

③(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(50年)表彰

県北地区 なし

県南地区 なし

会津地区 なし

浜通り地区 なし

④「学術奨励賞・論文賞」

庶務報告

会員動向（令和5年3月31日現在）

正会員数 令和4年度当初：655 名 令和4年度末：647 名

入会：27 名（転入などを含む）

退会：35 名（転出などを含む）

名誉会員数：15 名

賛助会員数：21 社

第1号議案 令和4年度決算報告

貸 借 対 照 表

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所[税込] (単位: 円)
令和5年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	8,235,188	8,452,009	△ 216,821
未収会費	180,000	290,000	△ 110,000
未収金	10,000	82,000	△ 72,000
前払金	22,297	66,890	△ 44,593
流動資産合計	8,447,485	8,890,899	△ 443,414
固定資産			
特定資産			
減価償却特定資産	7,543,398	6,891,355	652,043
特定資産合計	7,543,398	6,891,355	652,043
その他固定資産			
建物	5,570,903	5,840,015	△ 269,112
什器備品	3,151,053	2,931,184	219,869
土地	13,714,596	13,714,596	-
電話加入権	40,000	40,000	-
長期前払金	-	22,297	△ 22,297
その他固定資産合計	22,476,552	22,548,092	△ 71,540
固定資産合計	30,019,950	29,439,447	580,503
資産合計	38,467,435	38,330,346	137,089
II 負債の部			
流動負債			
未払金	44,880	-	44,880
流動負債合計	44,880	-	44,880
固定負債	-	-	-
負債合計	44,880	-	44,880
III 正味財産の部			
一般正味財産	38,422,555	38,330,346	92,209
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	(7,543,398)	(6,891,355)	652,043
指定正味財産	-	-	-
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	-	-	-
正味財産合計	38,422,555	38,330,346	92,209
負債及び正味財産合計	38,467,435	38,330,346	137,089

正味財産増減計算書

[税込] (単:円)

	当年度	前年度	
公益社団法人福島県診療放射線技師会	自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月 31日	自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月 31日	増減
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
【経常収益】			
【特定資産運用益】			
特定資産受取利息	132	172	△ 40
【受取会費】			
正会員受取会費	6,290,000	6,410,000	△ 120,000
賛助会員受取会費	630,000	690,000	△ 60,000
【事業収益】			
出版広報事業広告収益	130,000	130,000	-
学術研修事業広告収益	310,000	-	310,000
日放技業務受託料収益	142,000	146,200	△ 4,200
福島県業務受託料収益	82,000	82,000	-
【雑収益】			
受取 利息	96	83	13
経常収益 計	7,584,228	7,458,455	125,773
【経常費用】			
【事業費】			
厚 生 費	49,347	68,444	△ 19,097
支払手数料	20,566	16,206	4,360
旅費交通費	191,570	40,070	151,500
通信運搬費	1,368,632	641,126	727,506
減価償却費	326,819	304,857	21,962
消耗品 費	477,788	272,659	205,129
修 繕 費	77,000	55,000	22,000
保 険 料	14,990	16,670	△ 1,680
会 議 費	125,924	10,921	115,003
諸 謝 金	514,822	210,000	304,822
印刷製本費	1,378,080	1,024,760	353,320
広 報 費	128,200	150,400	△ 22,200
支払負担金	10,000	20,000	△ 10,000
支払助成金	40,000	40,000	-
事業費 計	4,723,738	2,871,113	1,852,625
【管理費】			
給与 手当	511,130	-	511,130
法廷福利費	1,440	-	1,440

委託報酬手数料	413, 868	479, 380	△	65, 512
会 議 費	53, 588	83, 150	△	29, 562
旅費交通費	228, 950	275, 699	△	46, 749
減価償却費	325, 224	321, 570		3, 654
通信運搬費	183, 269	177, 983		5, 286
消耗品 費	530, 497	217, 210		313, 287
賃 借 料	—	24, 000	△	24, 000
諸 会 費	104, 600	103, 600		1, 000
支払手数料	34, 101	21, 793		12, 308
租税 公課	131, 900	333, 500	△	201, 600
水道光熱費	132, 414	16, 674		115, 740
保 険 料	117, 300	117, 300		—
管理費 計	2, 768, 281	2, 171, 859		596, 422
経常費用 計	7, 492, 019	5, 042, 972		2, 449, 047
当期経常増減額	92, 209	2, 415, 483	△	2, 323, 274
基本財産評価損益等	—	—		—
特定資産評価損益等	—	—		—
投資有価証券評価損益等	—	—		—
2. 経常外増減の部				
【経常外収益】	—	—		—
【経常外費用】	—	30, 000	△	30, 000
貸倒損失	—	30, 000	△	30, 000
固定資産除却損	—	—		—
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	92, 209	2, 385, 483	△	2, 293, 274
一般正味財産期首残高	38, 330, 346	35, 944, 863		2, 385, 483
一般正味財産期末残高	38, 422, 555	38, 330, 346		92, 209
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	—	—		—
当期指定正味財産増減額	—	—		—
指定正味財産期首残高	—	—		—
指定正味財産期末残高	—	—		—
III 正味財産期末残高	38, 422, 555	38, 330, 346		92, 209

正味財産増減計算書内訳表

[税込] (単位: 円)

公益社団法人福島県診療放射線
技師会

自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5
年 3 月 31 日

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1・経常増減の部			
【経常収益】			
【特定資産運用益】			
特定資産受取利息	132		132
【受取会費】			
正会員受取会費	3,145,000	3,145,000	6,290,000
賛助会員受取会費	315,000	315,000	630,000
【事業収益】			
会報広告料	130,000		130,000
学術研修事業広告収益	310,000		310,000
日放技事務業務受託料	142,000		142,000
福島県業務受託料収益	82,000		82,000
【雑収益】			
受取 利息		96	96
経常収益 計	4,124,132	3,460,096	7,584,228
【経常費用】			
【事業費】			
厚 生 費	49,347		49,347
支払手数料	20,566		20,566
旅費交通費	191,570		191,570
通信運搬費	1,368,632		1,368,632
減価償却費	326,819		326,819
消耗品 費	477,788		477,788
修 繕 費	77,000		77,000
保 険 料	14,990		14,990
会 議 費	125,924		125,924
諸 謝 金	514,822		514,822
印刷製本費	1,378,080		1,378,080
広 報 費	128,200		128,200
支払助成金	40,000		40,000
支払負担金	10,000		10,000
事業費 計	4,723,738		4,723,738
【管理費】			
給与 手当		511,130	511,130
法定福利費		1,440	1,440
委託報酬手数料		413,868	413,868
会 議 費		53,588	53,588
旅費交通費		228,950	228,950
減価償却費		325,224	325,224
通信運搬費		183,269	183,269

消耗品 費		530,497	530,497
租税 公課		131,900	131,900
諸 会 費		104,600	104,600
水道光熱費		132,414	132,414
保 險 料		117,300	117,300
支払手数料		34,101	34,101
管理費 計		2,768,281	2,768,281
経常費用 計	4,723,738	2,768,281	7,492,019
当期経常増減額	△ 599,606	691,815	92,209
2・経常外増減の部			
他会計振替額	－	－	－
当期一般正味財産増減額	△ 599,606	691,815	92,209
一般正味財産期首残高			38,330,346
一般正味財産期末残高			38,422,555
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額		－	－
当期指定正味財産増減額		－	－
指定正味財産期首残高	－	－	－
指定正味財産期末残高	－	－	－
正味財産期末残高			38,422,555

*受取会費は公益目的事業会計(共通)に 50%、法人会計に 50%の割合で按分している

【継続企業の前提に関する注記】

該当事項なし

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、「公益法人会計基準」

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)によっています。

(1). 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(3). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法によっています。

(4). 引当金の計上基準

該当事項なし

(5). 消費税等の会計処理

免税事業者であるため、消費税等の会計処理は税込方式によっています。

【基本財産及び特定資産の増減額及びその残高】

[税込] (単位：円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
減価償却特定資産	6,891,355	652,043	-	7,543,398
合計	6,891,355	652,043	-	7,543,398

【基本財産及び特定資産の財源等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
特定資産				
減価償却特定資産	7,543,398	-	7,543,398	-
合計	7,543,398	-	7,543,398	-

【担保に供している資産】

該当事項なし

【固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高】

[税込] (単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	6,086,700	515,797	5,570,903
什器・備品	10,178,654	7,027,601	3,151,053
土地	13,714,596	-	13,714,596
減価償却特定資産	7,543,398	-	7,543,398
電話加入権	40,000	-	40,000

合計	37,563,348	7,543,398	30,019,950
----	------------	-----------	------------

【保証債務等の偶発債務】

該当事項なし

【指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳】

該当事項なし

【関連当事者との取引の内容】

該当事項なし

【重要な後発事象】

該当事項なし

付属明細書

公益社団法人福島県診療放射線技師会

令和5年3月31日 現在

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	6,086,700	-	-	6,086,700	515,797	5,570,903
什器・備品	9,575,854	602,800	-	10,178,654	7,027,601	3,151,053
土地	13,714,596	-	-	13,714,596	-	13,714,596
減価償却特定資産	6,891,355	652,043	-	7,543,398	-	7,543,398
電話加入権	40,000	-	-	40,000	-	40,000
長期前払金	22,297	-	22,297	-	-	-
合計	36,330,802	1,254,843	22,297	37,563,348	7,543,398	30,019,950

【借入金の増減内訳】

該当事項なし

【引当金の増減内訳】

該当事項なし

財 産 目 録

公益社団法人福島県診療
放射線技師会
全事業所

[税込] (単位 :
円)
令和 5 年 3 月 31
日 現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産	現金預金	手元保管	運転資金として	68,299
		普通預金		
		東邦銀行 福島医大 病院支店	運転資金として	8,018,930
		普通預金		
	未収会費	東邦銀行 大槻支店	運転資金として	10,934
		貯金口座		
		ゆうちょ銀行 仙台 貯金事務センター	運転資金として	137,025
	未収会費	正会員未収会費 令 和 4 年度分 18 名		180,000
	未収金	令和 4 年度会報広告費 GE ヘルスケアファーマ (株)	事業費及び法人運営	10,000
	前払金	事務所火災保険料 R5/4 月 から R5/7 月分	法人運営のため	22,297
流動資産合計				8,447,485
固定資産 特定資産	減価償却特定 資産	定期預金 東邦銀行 福島医大 病院支店	減価償却資産の取替え 更新のための積立資産	7,543,398
その他固 定資産	建物	福島県郡山市大槻町 字原ノ町 3 番 1 軽量鉄骨 2 階建 140.05 m ²	事業実施及び 法人運営のため	5,570,903
	什器・備品	法人本部	事業実施及び 法人運営のため	3,151,053
	土地	福島県郡山市大槻町 字原ノ町 3 番 1 264.68 m ²	事業実施及び 法人運営のため	13,714,596
	電話加入権	法人本部	法人運営のため	40,000
固定資産合計				30,019,950
資産合計				38,467,435
流動負債	未払金	事務員給与令和 5 年 3 月分		44,880
負債合計				44,880
正味財産				38,422,555

監査報告書

公益社団法人 福島県診療放射線技師会
代表理事 会長 新里昌一 様

私ども監事は、公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第26条および第45条に基づき、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査いたしました。その結果について下記の通り報告いたします。

記

1. 事業報告等の監査結果

事業は、事業計画に従い適正に施行されているものと認めます。

2. 貸借対照表、正味財産増減計算書等の監査結果

貸借対照表、正味財産増減計算書およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況について適正かつ正確に示していることを認めます。

以上

令和5年4月25日

監 事

齋藤康雄



監 事

高橋 和



以上

第2号議案 令和5年度事業計画（案）

総括

コロナ感染拡大防止のため、令和5年も定時総会も異例ではあるが紙面上での承認とした。

令和5年度は役員改選があり、新しい理事を含めた体制で臨んでいく。理事は最大17名であったが昨年度までは16名体制で行って来た。今年度より常任理事を1名増やして17名体制で臨みたい。また、特別事務職も後任を出し継続させていく。事業計画に基づき各委員会、各種研究会が主な活動を行う。主だった事業は年間行事予定表に示したが、この他にも多くの研究会や講習会有り、福島県診療放射線技師会のホームページを通じて情報を発信するので、是非活用して積極的な参加をお願いする。

なお、令和3年度から日本診療放射線技師会の受託事業として、タスクシフト/シェアの講習会が告示研修として開催された。今年度も大きな事業となるが、何とか進めて行きたい。医師の派遣については交渉等負担が大きかったが技師に変わる事で軽減される事を願う。

福島県立医科大学保健科学部とは、県技師会としても相互に協力や応援を行う事を継続する。

令和5年度は第13回東北放射線医療技術学術大会を11月に山形県で開催する予定である。今回は一般演題を重視した大会になるので、演題登録をお願いしたい。日本放射線技術学会と共に運営計画を進めているので、是非参加していただくと共に演題応募をお願いする。なお、福島県診療放射線技師学術大会は、演題募集を行いハイブリッド開催のオンデマンド予定で検討中である。

会報や年6回発行される福島放技ニュースは、技師会の重要な情報発信の基礎になっている。福島県診療放射線技師会ホームページは、多くの情報を含めて掲載するのでこれからも活用していただきたい。

放射線に対する正しい知識の啓発活動は、集合が可能になったなら一般公開講座を開催すると共に、各自治体での健康まつりへの参加、ピンクリボン活動等を通じて例年同様に実施していく。

また、福島県原子力防災住民避難訓練等に参加すると共に、緊急被ばく医療への貢献やスクリーニング要員の育成、災害時の緊急連絡体制の整備等を進め、原子力災害医療協力機関としての登録が認められた事に誇りを持ち、放射線管理士部会とも協力関係も継続して、今後の活動を積極的に進めて行く。

また、新事務所を今後も有用に活用していき、ハード面だけではなく非常勤事務員に週2回勤務して貰い会員サービス向上を含めたソフト面も活性化を図りたい。

今年度末まで東北地域理事の任期もあるのでJART理事を兼ねる分、理事や事務局にはより一層の協力をお願いする。

令和5年度も、新事務所の有効利用を図りながら新執行部・理事の新体制のもとで積極的に事業を進めて公益社団法人としての使命を果たし、放射線の正しい知識の啓発、県民の医療の向上に貢献して行く所存である。そのためには、会員の皆様のより一層のご理解、ご協力が不可欠であるので宜しくお願いしたい。

定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

- 1) 福島県 MRI 技術研究会の開催
- 2) 福島県 CT テクニカルセミナーの開催
- 3) 福島県画像技術研究会の開催
- 4) 福島県デジタル画像研究会の開催
- 5) 福島県乳腺画像研究会の開催 (共催事業)
- 6) 福島県消化器研究会の開催 (共催事業)
- 7) 福島県放射線治療技術研究会の開催 Web 開催も含める
- 8) 福島県診療放射線技師会学術講演会の開催 (主催事業)
- 9) 福島県臨床画像研究会の開催 (放射線医師会との共催事業)
- 10) 福島県放射線管理士部会セミナー・研修会の開催 (共催事業)
- 11) 福島救急撮影カンファレンスの開催 (共催事業)
- 12) 機器管理士部会の創設への援助
- 13) 各地区協議会主催研究会の開催
- 14) その他、診療放射線技術の向上に関する事業
- 15) 福島医科大学新学部との相互協力関係の維持

(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

- 1) 県民に対する放射線被ばくや放射線診療に関する啓もう活動の実施
- 2) 各自治体が開催する「健康まつり」への参画
- 3) ホームページによる一般向け情報の提供
- 4) 医療体験セミナーでの中学生への診療放射線技師の活動紹介
- 5) その他、診療放射線に関する正しい知識の普及啓もうに関する事業

(3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事業

- 1) 福島県診療放射線技師学術講演会の開催
- 2) フレッシュアップセミナーの開催 (日本診療放射線技師会との共催事業)
- 3) 第 13 回東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2023) 開催協力 (共催事業)
- 4) タスクシフトによる告示研修の推進 (日本診療放射線技師会との共催事業)
- 5) その他、診療放射線技師による検査技術向上及び職業倫理の高揚に関する事業

(4) 診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

- 1) 福島県生活習慣病検診従事者指導講習会の開催 (福島県からの受託事業)
- 2) 各施設の X 線撮影装置の精度管理
X 線アナライザー「ピラニア」の貸し出しと精度管理
- 3) 福島県内における診療放射線技師の実態調査
- 4) 災害時緊急連絡体制の整備
- 5) 緊急被ばく医療防災事業への協力

①令和 5 年度福島県原子力防災住民避難訓練に参加及び緊急時通信連絡訓練の参加

②避難解除地域帰還者の WBC 測定結果説明への要員派遣

(原子力安全協会からの要請支援)

③福島県緊急被ばく医療活動マニュアル検討部会への参画

④緊急被ばく医療講座・研修会への参加

⑤避難退域時検査要員の育成と派遣

6) 乳がん啓発キャンペーン ピンクリボン活動への参加協力

7) 各市の乳がん検診読影会への参加協力

8) その他、診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

(5) その他目的を達成するために必要な事業

1) 第 12 回 (令和 5 年度) 公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会の開催

2) 理事会の開催 (5-6 回)、執行部会 (5-6 回)、各委員会の開催

3) 福島放技ニュース (6 回) の発行と電子化の検討、会報 (1 回) の発行

4) 表彰及び他団体での表彰該当者の推薦

5) 会員数増加を目指す勧誘活動

6) ホームページによる会員向け情報の発信

7) ホームページによる求人情報の提供

8) 会員メールマガジン・各委員会メーリングリストの維持管理

9) 年会費納入の推進・電子マネーの導入

10) 非常勤事務員の雇用により会員サービス向上

11) その他、目的を達成するために必要な事業

以上

令和5年度 年間行事予定表 (案)

下記行事は計画で、諸般の事情により変更する場合があります。

開催	(公社) 福島県診療放射線技師会	(公社) 福島県診療放射線技師会主催外
4月		日本放射線技術学会総会 第1回東北会長会議
5月	定時総会（紙面上採決・役員改選） 第1回理事会（現地開催）	
6月	福島県MRI技術研究会 合同委員会	日本診療放射線技師会定期総会
7月	第2回理事会（Web開催） 県南地区サマーセミナー 県北地区夏期勉強会	全国会長会議
8月	フレッシュャーズセミナー	東北MR技術研究会
9月	第3回理事会（太田西ノ内病院） 浜通り地区夏期研修会	東北CT技術研究会 第38回日本診療放射線技師学術大会
10月	福島県消化器研究会 福島県デジタル画像研究会 救急撮影カンファレンス	日本放射線技術学会秋季学術大会 ピンクリボン in 郡山
11月	県技師会学術大会	東北会長及び教育委員合同会議（山形県） 第13回東北放射線医療技術学術大会（山形） 福島県原子力防災訓練
12月	第4回理事会（太田西ノ内病院）	
令和6 年1月	福島県画像技術研究会 県南地区新年勉強会 県北地区新年勉強会	
2月	福島県生活習慣病検診従事者講習会及 び消化器研究会 総務企画委員会 浜通り地区相双画像勉強会	東北会長及び教育委員合同会議（盛岡）
3月	第5回理事会（医大）	

2019 年末より新型コロナウイルスが猛威を振るい、技師会活動にも大きな影響を与えている。年間行事予定表を掲載するが、各研究会・学会の延期や中止が相次いでいるので、福島県診療放射線技師会ホームページ等での開催確認等をお願いします。

令和5年度 見込正味財産増減計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

[税込] (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用収入	1,000	1,000	0
特定資産運用収入			
受取会費			
正会員受取会費	6,200,000	6,400,000	-200,000
賛助会員受取会費	600,000	630,000	-30,000
事業収益			
出版広報事業広告収益	150,000	150,000	0
学術研修事業広告収入	300,000	300,000	0
啓もう普及事業収入	50,000	100,000	-50,000
受取補助金等			
受取福島県助成金	82,000	82,000	0
受取負担金			
委託事業負担金	300,000	130,000	170,000
雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	1,000	1,000	0
経常収益 計	7,685,000	7,795,000	-110,000
(2)経常費用			
事業費			
会議費	600,000	750,000	-150,000
旅費交通費	100,000	100,000	0
通信運搬費	400,000	600,000	-200,000
減価償却費	400,000	400,000	0
印刷製本費	1,000,000	1,500,000	-500,000
広報費	200,000	300,000	-100,000
消耗品費	10,000	120,000	-110,000
修繕費	1,300,000	200,000	1,100,000
保険料	20,000	20,000	0
厚生費	10,000	20,000	-10,000
諸謝金	100,000	250,000	-150,000
支払助成金		0	0
支払負担金		0	0
手数料	20,000	20,000	
雑 費	1,000	100,000	-99,000
事業費 計	4,161,000	4,380,000	-219,000
管理費			
業務委託費	400,000	500,000	-100,000
会議費	60,000	150,000	-90,000

料	旅費交通費	65,000	200,000	-135,000
	通信運搬費	100,000	150,000	-50,000
	什器備品費	300,000	640,000	-340,000
	減価償却費	400,000	400,000	0
	消耗品費	100,000	200,000	-100,000
	貸借 修繕費	950,000	0	950,000
	諸会費	110,000	120,000	-10,000
	人件費	600,000	800,000	-200,000
	法定福利費	5,000	0	5,000
	保険料	51,000	51,000	0
	租税公課	135,000	150,000	-15,000
	水道光熱費	100,000	30,000	70,000
	手数料	20,000	10,000	10,000
	雑 費	5,000	10,000	-5,000
	管理費 計	3,401,000	3,411,000	-10,000
經常費用 計		7,562,000	7,791,000	-229,000
評価損益等調整前当期經常増減額		123,000	4,000	119,000
基本財産評価損益等				
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期經常増減額		123,000	4,000	119,000
2. 經常外増減の部				
(2) 經常外収益				
經常外費用				
当期經常外増減額				
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額		123,000	4,000	119,000
一般正味財産期首残高		36,103,863	36,099,863	4,000
一般正味財産期末残高		36,226,863	36,103,863	123,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高		36,226,863	36,103,863	123,000

令和5年度 見込正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用収入	1,000	0	1,000
特定資産運用収入			
受取会費			
正会員受取会費	3,100,000	3,100,000	6,200,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	600,000
事業収益			
出版広報事業広告収益	150,000		150,000
学術研修事業広告収入	300,000		300,000
啓もう普及事業収入	50,000		50,000
受取補助金等			
受取福島県助成金	82,000		82,000
受取負担金			
委託事業負担金	300,000		300,000
雑収益			
受取利息		1,000	1,000
雑収入		1,000	1,000
経常収益 計	4,283,000	3,402,000	7,685,000
(2)経常費用			
事業費			
会議費	600,000		600,000
旅費交通費	100,000		100,000
通信運搬費	400,000		400,000
減価償却費	400,000		400,000
印刷製本費	1,000,000		1,000,000
広報費	200,000		200,000
消耗品費	10,000		10,000
修繕費	1,300,000		1,300,000
保険料	20,000		20,000
厚生費	10,000		10,000
諸謝金	100,000		100,000
支払助成金			0
支払負担金			0
手数料	20,000		
雑 費	1,000		1,000
事業費 計	4,161,000		4,161,000
管理費			
業務委託費		400,000	400,000
会議費		60,000	60,000
旅費交通費		65,000	65,000
通信運搬費		100,000	100,000

什器備品費		300,000	300,000
減価償却費		400,000	400,000
消耗品費		100,000	100,000
修繕費		950,000	950,000
諸会費		110,000	110,000
人件費		600,000	600,000
法定福利費		5,000	5,000
保険料		51,000	51,000
租税公課		135,000	135,000
水道光熱費		100,000	100,000
手数料		20,000	20,000
雑 費		5,000	5,000
管理費 計		3,401,000	3,401,000
経常費用 計	4,161,000	3,401,000	7,562,000
評価損益等調整前当期経常増減額	122,000	1,000	123,000
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
当期経常増減額	122,000	1,000	123,000
2. 経常外増減の部			
(2) 経常外収益			
経常外費用			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	122,000	1,000	123,000
一般正味財産期首残高			36,103,863
一般正味財産期末残高			36,226,863
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	0	0	36,226,863

第4号議案 定款及び規程改正

(議事録)

第21条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事および出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

「議長および理事」を「会長および副会長」へ変更する。

改正後

(議事録)

第21条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 会長および副会長は、前項の議事録に記名押印する。

(報酬等)

第28条 理事および監事は無報酬とする。ただし、常勤の理事および監事に対しては総会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を、総会の決議を経て報酬として支給することができる。

「常勤の理事および監事」を「常勤の理事・監事および非常勤の外部監事」に変更する。

改正後

(報酬等)

第28条 理事および監事は無報酬とする。ただし、常勤の理事・監事および非常勤の外部監事に対しては総会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を、総会の決議を経て報酬として支給することができる。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事および監事は前項の議事録に記名押印する。

「出席した理事および監事」を「出席した会長・副会長および監事」に変更する。

改正後

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長・副会長および監事は前項の議事録に記名押印する。

役員報酬規程改訂部分

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人福島県診療放射線技師会（以下本会という）定款第29条の定めに基づき、年間出勤日数が平均週4日以上執行役員（以下常勤役員）の報酬の支給基準について定めることを目的とし、その他の役員は無報酬とする。

「執行役員（以下、常勤役員）の報酬の支給基準について」を「執行役員（以下、常勤役員）、非常勤の外部監事の報酬の支給基準について」に変更する。

改正後

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人福島県診療放射線技師会（以下本会という）定款第29条の定めに基づき、年間出勤日数が平均週4日以上執行役員（以下常勤役員）、非常勤の外部監事の報酬の支給基準について定めることを目的とし、その他の役員は無報酬とする。

(報酬の額)

第2条 常勤報酬額は以下の通りにする

- (1) 会長 月額 100,000円
- (2) 副会長 月額 70,000円
- (3) 理事 月額 50,000円

「(4) 監事 月額 70,000円」を追加する。

また、第2条の2として「非常勤外部監事の報酬は年額100,000円（源泉所得税控除後）とする。」を追加する。

改正後

(報酬の額)

第2条 常勤報酬額は以下の通りにする

- (1) 会長 月額 100,000円
- (2) 副会長 月額 70,000円
- (3) 理事 月額 50,000円
- (4) 監事 月額 70,000円

2 非常勤外部監事の報酬は年額100,000円（源泉所得税控除後）とする。

第5号議案 令和5－6年度理事・監事の選任について

令和5－6年度理事・監事選出は紙面信任投票による表決となります。

第6号議案 会長・副会長の選出について

定款第23条第2項より、理事会は、会長ならびに副会長を選定および解職する。一方、同項では「理事会は、総会において別に定める役員選出規程により会長候補者ならびに副会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。」定めがあります。

本議案は、理事会にて会長ならびに副会長を選定することを問う議案となります。

（賛成）：理事会で会長ならびに副会長を選定する。

（否決）：総会において会長候補者ならびに副会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する。

※「否決」の場合は、別日に臨時総会を開催し、会長候補者ならびに副会長候補者を選出します。